

授業科目 視覚機能検査学 I

【担当教員名】 魚里 博 他		対象学年	2	対象学科	視機	
		開講時期	前期	必修選択	必修	
		単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		態度		
◎		○		○		
【概要・一般目標：G10】 眼科検査（入力系および統合系）の基本となる各検査の結果の意味とその評価について理解することを目的とする。臨床の現場において治療方針決定などに役立つ検査が行えるように、疾患別の検査データ評価、検査条件の選択、検査の組み立て方などについて講義する。						
【学習目標・行動目標：SBO】						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	眼科検査の分類 入力系、出力系、統合系					講義
2	視力検査のフローチャート					講義
3	視力検査 - 遠見視力検査、近見視力検査					講義
4	視力検査 - 両眼開放視力検査、コントラスト視力検査、干渉縞視力検査					講義
5	視力検査 - 他覚的視力検査					講義
6	屈折検査のフローチャート					講義
7	屈折検査 - 検影法					講義
8	屈折検査 - オートレフラクトメータ					講義
9	屈折検査 - フォトレフラクタ					講義
10	屈折検査 - ケラトメータ					講義
11	調節検査のフローチャート					講義
12	調節検査 - 近点計検査、他覚調節検査					講義
13	両眼視機能検査のフローチャート					講義
14	両眼視機能検査 - 大型弱視鏡、三杆法、Worth4 灯、残像法					講義
15	両眼視機能検査 - Bagolini 線条レンズ法、4 プリズム Base out test、不等像検査					講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		視能学 第二版	丸尾敏夫 他	文光堂	2011・18,000 円+税	
		眼科検査法ハンドブック第4版	小口芳久 他	医学書院	2013・23,100 円+税	
参考書						
その他の資料		適宜、プリントを配布する。				
【評価方法】 定期試験、授業参加状況を総合して評価する。			【履修上の留意点】			